CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要

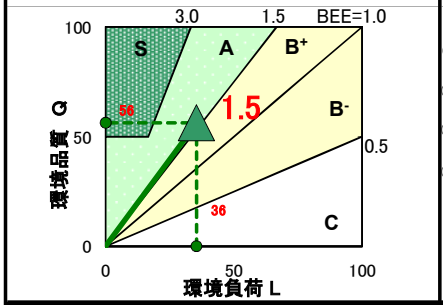
建物名称	令和2年度　浜松市立西部中学校改築工事	階数	地上3F
建設地	静岡県浜松市中区鴨江2丁目1353-	構造	RC造
用途地域	市街化区域、防火指定なし	平均居住人員	406　人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,980　時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月　　予定	評価の実施日	株式会社竹下一級建築士事務所
敷地面積	24,406 ㎡	作成者	2023/6/22
建築面積	2,338 ㎡	確認日	株式会社竹下一級建築士事務所
延床面積	5,564 ㎡	確認者	2023/6/22

1-2 外観

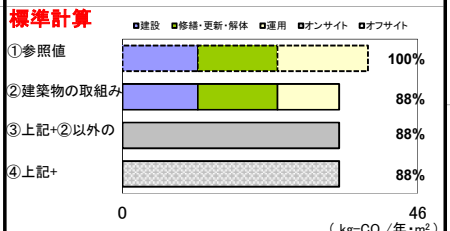
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.5

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

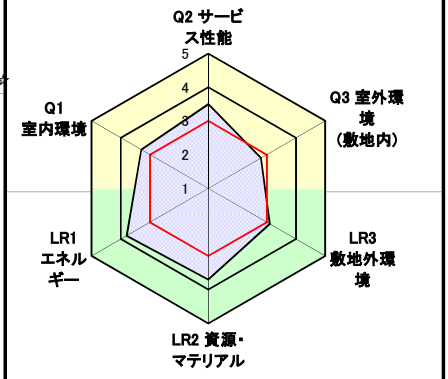


2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

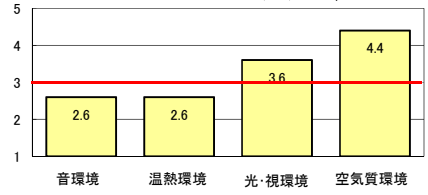
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



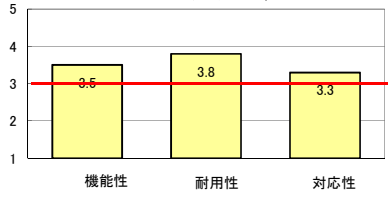
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.2

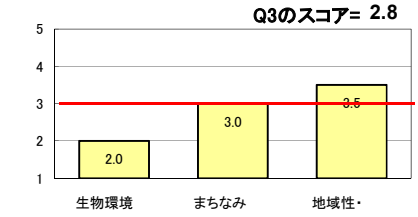
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.5

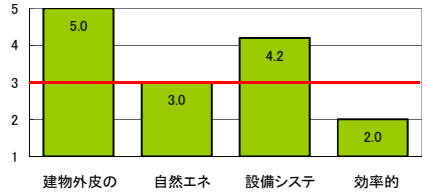


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.8

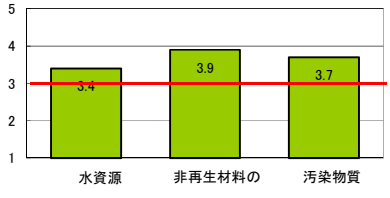


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.5

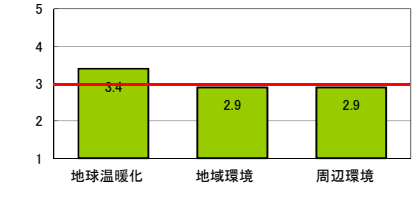
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.8



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.7



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.1



3 設計上の配慮事項

総合

地域の雨水抑制として運動場に調整池を設けている。
浜松市の緑化基準を上回る詳細計画としている

その他

Q1 室内環境

昼光率を高めに設定し、また、ブラインドや庇を採用するなど光・視環境に配慮している。
また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。

Q2 サービス性能

階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。補修必要間隔の長い配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。視線を遮らない様な樹木の配置など防犯性に配慮している。空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。

LR1 エネルギー

ＬＥＤ照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。

LR2 資源・マテリアル

自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。
ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。

LR3 敷地外環境

広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE静岡

CASBEE建築（新築）2016年版 ver4.0対応

□ 欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	令和2年度　浜松市立西部中学校改築工事	BEE	1.5	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.9	/5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.8	/5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.0	/5		よい
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.6	/5		ふつう

※対応するCASBEEのスコア（平均）を5点満点で表示します。（スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点）

評価　凡例

よい	ふつう	がんばろう
4 点以上	3 点以上	3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号（①～）を示し記述してください。

	内訳対応項目					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進（Global Warming）	得点					3.9
■室内環境対策　（①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数） ③3階CR4：ｶｰﾃﾝ+庇にてｸﾞﾚｱを制御	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
			3.2	3.2.1	③	昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境（敷地内）対策　（⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上） ⑤外構緑化指数10.98% ⑥空地率83.68%	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
 ■エネルギー対策　（⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用） ⑦BPIm＝0.62 ⑨BEIm=0.68	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
		2			⑧	自然エネルギー利用
		3			⑨	設備システムの高効率化
		4	4.1		⑩	モニタリング
			4.2		⑩	運用管理体制
■資源・マテリアル対策　（⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避） ⑪自動水栓及び泡沫水栓に加えて、節水型便器の採用 ⑫砂利・路盤材、断熱材・外壁・ﾋﾟﾛﾃ内断熱、製材・造作材 ⑫LGS下地により容易に分別可能、OAﾌﾛｱ採用 ⑬ODP＝0かつGWP＝1の高性能ﾉﾝﾌﾛﾝ断熱材を採用	LR-2	1	1.1		⑪	節水
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
		2	2.1		⑫	材料使用量の削減
			2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用
			2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
			2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
			2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
			2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤
				3.2.2	⑬	断熱材
				3.2.3	⑬	冷媒
■敷地外環境対策　（⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善） ⑮夏期の卓越風向に対する見付面積比40%未満	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成（Disaster）	得点					3.8
 ■サービス性能対策　（⑯耐震・免震/⑰信頼性） ⑯建築基準法の2倍の耐震性能を有する ⑰給水管VLP(B)、給湯管VLP(C)、雑排水管VP(B)SGP(C)、Eは不採用	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
				2.1.2	⑯	免震・制振性能
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
				2.4.3	⑰	電気設備
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
				2.4.5	⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進（Universal Design）	得点					4.0
 ■サービス性能対策　（⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり） ⑳平均階高：3.7以上3.9m未満 ⑳壁長さ比率：0.1以上0.3未満	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
		3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり
				3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ
■室外環境（敷地内）対策　（㉑地域性・アメニティへの配慮） ㉑市産材を内装材に使用、地域交流ｽﾍﾟｰｽ、外部ﾃﾗｽ(光庭)設置、視線を遮らない様な樹木の設置	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復（Nature）	得点					3.6
 ■室外環境（敷地内）対策　（⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上） ⑤外構緑化指数10.98% ⑥空地率83.68%	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
		2			㉒	まちなみ景観への配慮
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策　（⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善） ⑮夏期の卓越風向に対する見付面積比40%未満	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材
	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善